

地域密着型金融の取組みについて(平成27年度)

項目	取組み内容	成果(効果)	外部機関との連携					
<p>経営改善支援</p> <p>お客様の経営改善、ランクアップを目的としてコンサルティング機能を発揮、支援先へのモニタリングを行い、経営改善に向けてのサポートを行いました。</p> <p>なお、経営改善支援の取組実績は、以下のとおりです。</p>	<p>資産査定における要注意先及び破綻懸念先事業所全先に、営業店長との協議により支援先を抽出し、経営改善に取り組み致しました(27年度の支援先65先)。</p> <p>「経営支援先対応方針協議書」に基づいて、経営者と問題点や改善策を共有し、モニタリングによる進捗管理と外部機関の活用提案による改善支援に取り組んでおります。</p> <p>また、コンサルティング能力の向上を図るため、経営改善支援実務研修を信金中央金庫と連携して実施しております。</p>	<p>計数計画策定先58先のうち、売上計画達成先は47先、利益計画達成先は27先となりました。</p> <p>また、債務者区分を5先ランクアップさせております。</p>	<p>みやぎ産業復興機構 中小企業再生支援協議会 ミラサポ 宮城県よろず支援拠点</p>					
<p>【27年4月～28年3月】</p>								
<p>(単位:先数) (単位:%)</p>								
	<p>期初 債務者数</p> <p style="font-size: small;">A</p>	<p>うち 経営改善支 援取組み先 数</p> <p style="font-size: small;">α</p>	<p>αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数</p> <p style="font-size: small;">β</p>	<p>αのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数</p> <p style="font-size: small;">γ</p>	<p>αのうち再生 計画を策定し ている全ての 先数</p> <p style="font-size: small;">δ</p>	<p>経営改善支 援取組み率</p> <p style="font-size: small;">α/A</p>	<p>ランクアップ 率</p> <p style="font-size: small;">β/α</p>	<p>再生計画 策定率</p> <p style="font-size: small;">δ/α</p>
正常先 ①	895	1	/	0	0	0.1%	/	0.0%
要注意 先								
うちその他 要注意先 ②	265	54	4	47	50	20.4%	7.4%	92.6%
うち 要管理先 ③	1	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先 ④	71	10	1	8	8	14.1%	10.0%	80.0%
実質破綻先 ⑤	37	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先 ⑥	5	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	379	64	5	55	58	16.9%	7.8%	90.6%
合計	1,274	65	5	55	58	5.1%	7.7%	89.2%

項目	取組み内容	成果(効果)	外部機関との連携
<p>創業・新事業開拓支援</p> <p>次世代型農業の実践により過疎地農業の担い手育成と、地域雇用創出を目指す地域活性化事業への協調融資支援</p>	<p>石巻市内の人口減少地区に於いて被災した遊休農地を活用し、オランダ型の大規模次世代施設園芸を新たに開始するものです。被災農家によって組織された農業生産法人が、環境保全型植物工場（オランダ型温室ハウス 2.4ha）で、養液栽培による野菜を生産販売します。</p> <p>期待される効果として、当地域の課題である農業の担い手を育成し、地域内の新たな雇用を創出することで、過疎地域の地域経済の活性化を図ることで、</p> <p>取組み支援内容は、自治体を中心としたコンソーシアムを形成し、産学官金の連携機関がそれぞれの専門分野を活かし、事業の開始に向けた支援並びに創業後のフォロー支援の実施です。当金庫含めた4金融機関の協調融資や外部団体支援メニューを利用した利子補給融資を活用し、創業に際しての必要資金を提供するものです。</p>	<p>本件の取組みを通して、一年間の栽培研修を経験し先端技術を習得した地域農業の担い手となる若者5名を育成すると共に、スタッフ30名を雇用しております。</p> <p>今後の事業運営により、被災地農業の復興や、地域経済の発展に寄与するものと期待されています。</p>	<p>宮城県、石巻市、日本政策金融公庫、農林中央金庫、七十七銀行、日本財団（わがまち基金）</p>
<p>Uターン創業者に対しての、政府系金融機関と連携した創業支援</p>	<p>首都圏から被災地にUターンし、調剤薬局事業を新たに開設する事業者に対し、日本政策金融公庫、日本財団わがまち基金と連携して創業支援を行ったものです。</p> <p>新設した調剤薬局は、地域の中核を担う高齢者福祉施設と連携し、施設利用者向けの調剤業務をメインとし、施設への宅配等を実施することで利用者の利便性を向上させ、他の事業所との差別化を図ります。</p> <p>本件の創業融資支援については、日本政策金融公庫の新規創業震災関連枠の低利融資を活用すると共に、日本財団わがまち基金利子補給融資を一部活用することで、創業者の経費負担を極力軽減する提案を実施しております。</p>	<p>さらに需要拡大が見込まれる、医療介護分野に対する各種ニーズに対応し、貢献度が高くなるものと期待されております。</p>	<p>日本政策金融公庫、日本財団（わがまち基金）</p>

項目	取り組み内容	成果(効果)	外部機関との連携
<p>地域の面的再生への参画</p> <p>人材育成支援</p>	<p>①東日本大震災からの復興を果たし、当地域がさらなる発展を遂げるには、企業活動の活性化と新産業の創業・起業が必要不可欠であります。</p> <p>地域の未来を支える企業家の育成と支援を目的に、平成26年度「いしのみきイノベーション企業家塾」を開講しました。平成27年度は、講義時間を1時間30分から2時間に延長するなど内容を充実させ、ビジネスプランの作り方や経営戦略、人材・組織マネジメント等、経営者に必要な知識やノウハウを13回にわたり、24名の塾生が受講してております。</p> <p>②課題解決型金融への取り組みを強化するための目利き力の向上と、コンサルティング業務を担う人材の育成を目的に、「産学金連携コーディネータ認定研修」を実施しました。当金庫の職員16名が、地域における中小企業の経営戦略等について学びました。</p>	<p>①塾生の新規創業(設計・コンサルティング)が行われるなど、塾生の新たなビジネス創造への契機となっています。</p> <p>また、塾生同士の情報ネットワークに繋がるとともに、受講生の意識改革を図ることに繋がっております。</p> <p>②企業を育てるために金融機関が果たす役割等について、知識を深めることができました。</p>	<p>石巻市、東北大学・石巻専修大学、日本財団「わがまち基金」、特定非営利活動法人アイ・エス・エル(ISL)</p>
<p>観光シンポジウム、研修会の開催</p>	<p>①地域住民に、震災から復興の過程において日々変化する「まち」を理解してもらい、「まち」の魅力を知って頂くこと。来訪者に石巻の「まち」の魅力を知ってもらうこと等を目的とし、石巻専修大学との連携により「平成27年度 石巻地域観光シンポジウム」を開催しました。</p> <p>地域住民を対象にワークショップ形式で、住民が普段感じている「まち」の魅力などを引き出したり、石巻に関わる本や雑誌、文献などで調べたりしながら、昨年制作した「まちあるきマップ」をベースに新たな「まちあるきマップ」を制作しております。</p> <p>②石巻地域における食産業関連の事業者が連携して、高付加価値商品の開発や販路拡大の促進および事業者間の連携強化を目的とし、「地域食材を活用した商品開発・販路拡大研修会」を開催しました。</p>	<p>①地域の観光資源の発掘と、まちの魅力を考え・知る良い機会となりました。</p> <p>②業界の常識や慣行にとらわれず、異業種とのコラボレーションによるイノベーション創出が企業に必須であり、顧客視点での商品開発について考える良い機会でした。</p>	<p>石巻専修大学、宮城県東部地方振興事務所</p>